

第5回一関市総合計画審議会会議録

企画振興部企画調整課

1 会議名 平成25年度第5回一関市総合計画審議会

2 開催日時 平成26年3月20日(木) 午後1時30分～午後3時20分

3 開催場所 なのはなプラザ3階 一関公民館 大会議室

4 出席者

(1) 一関市総合計画審議会委員 17人

及川忠委員、大澤弘毅委員、木村静恵委員、金野久美委員、小岩邦弘委員、佐藤芳郎委員、菅原五三男委員、菅原勇委員、千田博委員、千葉和行委員、千葉博委員、槻山チエ委員、永澤由利委員(副会長)、沼倉恵子委員、畠中良之委員(会長)、松岡千賀子委員、三浦幹夫委員

欠席委員 10人

阿部新一委員、阿部美代子委員、岩渕三枝子委員、小野松男委員、小山麗子委員、小森洋子委員、千葉久美委員、千葉敏恵委員、千葉政吉委員、千葉真美子委員

(2) 市出席者

市長、企画振興部長、企画調整課員

5 市長挨拶

最近の市の情報をお話しさせていただく。ここのところ毎日卒業式や閉校式に出席しているが、子どもの数が減ってきていると実感している。子どもの教育環境の面から見て、新しいことを考えていかななくてはならないと思っているところである。千厩と花泉の小学校では統合の動きができてきている。

閉校後の空き校舎の活用の問題もある。地域の歴史を残すためにしっかりした保存管理をするなど、取り組んでいかなければならないと思っている。

放射能汚染廃棄物の問題では、大東の清掃センターで、汚染された牧草を焼却処分するということで地域の方々にご了解をいただいている。また、焼却後の灰を埋める場所である最終処分場の地域の方々に対しては、何らかの配慮をしなければならないと思っている。

一関の清掃センターは老朽化しているので、新しいものをつくらなければならないと思っている。新しい焼却炉は、狐禅寺につくらせていただきたいと思っており、地域の方々の説明をしているところである。この新しい焼却炉はI L Cとの関係も念頭に置き、集客、交流のできる新しいスタイルの複合施設とすることを考えている。

人事異動の内示を行ったところだが、協働のまちづくりを進めるため、一関担当の政策推進監を設置することとした。組織機構の見直しでは、効率的に仕事ができるよう、千厩支所に各支所の技術者を集めて建設農林センターを設置することとした。

前回の審議会では、各種団体との意見交換の進め方などについて議論のあったところだが、今日の審議会では、会長が今後の進め方についてなど提案されるようなので、活発な意見交換をお願いしたい。

6 議 題

- (1) 次期総合計画策定基本方針（案）について
 - ・ 次期総合計画策定基本方針（案）
 - ・ 次期総合計画策定のしくみ（案）
 - ・ 次期総合計画策定全体スケジュール（案）
- (2) 次期総合計画策定に係る市民等アンケート項目について
 - ・ 総合計画後期基本計画策定《市民アンケート》
 - ・ 総合計画後期基本計画策定《中学生・高校生アンケート》
 - ・ 総合計画後期基本計画策定《企業アンケート》
- (3) その他
 - ・ 総合計画審議会の意見等への回答

7 会議の内容

- (1) 次期総合計画策定基本方針（案）について
初めに事務局から資料の説明を行い、質疑・意見交換を行った。

① 審議会委員意見

「4. 計画策定体制」の本文中、総合計画審議会へ諮問を行い、それぞれ答申を得た後は、議会の議決を経て計画を決定する。とあるが、しくみの図では審議会委員が議会と懇談することとなっている。議会との関係がわからないので教えてほしい。

【市回答】

本文中の議会の議決を経て計画を決定するというのは、手続き的にやらなくてはいけないことである。

しくみの図での審議会委員と議会との懇談というのは、広く市民の意見を取り入れて策定するという中で、市議会でも市民との意見交換会など行っているのので、市議会議員との懇談も行ってはどうか、という意味で入れたものである。

② 審議会委員意見

地域協働体が策定する地域づくり計画は、総合計画にどう反映されるのか。

【市回答】

地域づくり計画については、主として基本計画へ反映することとなると考えるが、基本計画の構成に地域別計画を盛り込むかは、今後の審議会で検討していくこととなる。

【議長】（会長）

地域協働体等の計画については、基本構想ではなく、基本計画の部分で検討することとなる。また、地域協働体の計画については、進んでいる地域とそうではない地域があるので、基本計画に盛り込むかどうかは、地域での進捗状況のバラつきに配慮する必要がある。

【議長】

多くの人からご意見をいただき、総合計画を策定していく際の今後の進め方について、私案を提案したいと思うので検討をお願いしたい。三点申し上げる。

一つ目は、意見をもらう機会について、基本構想の策定前と基本計画の策定前に実施すること。

二つ目は、審議会として市議会と懇談する形はとらないこと。議会は議案として総合計画を審議する立場にあり、それぞれが独立して審議する必要があるためである。ただし、議員の方が個人の立場で意見交換に参加することは妨げないものとした。

三つ目は、意見交換する方法として、ワークショップを行い、幅広い年代、いろいろな立場の方、地域の方から意見を出してもらうこと。そして、審議会委員の皆さんはファシリテーター役を務めてもらうこと。ワークショップは東地区と西地区でそれぞれ開催することとしてはどうかと思っている。基本構想については、平成 26 年 7 月頃を予定したい。各種団体、興味のある市民へ広く声掛けを行い、参加者を募る。ワークショップで提案されたものを審議会で審議することとする。基本計画について、基本構想と同じ方法とするかどうかについてはまた議論して決定したいと思う。

③ 審議会委員意見

ワークショップを東と西で行うのは賛成である。この方法でより多くの市民の方からの意見をもらうことができると思う。市民が計画を策定する段階から参加することは賛成である。

地域協働体が策定する地域づくり計画について、地域によって進んでいる地域とそうでない地域があるのはそのとおりだと思う。しかし、策定した地域づくり計画を基本計画に反映したかどうかは地域にとって重要なことであるので、地域づくり計画と基本計画とを整合性のあるものにできればよいのではないかと思う。

【議長】

今のご意見を受けて、基本計画については、各地域の声が反映される仕組みを事務局で考えていただきたいと思います。

基本構想はワークショップで検討することとするが、計画に漏れている事項があつてはいけないので、行政の立場から最低限盛り込まないといけないことについては事務局と調整を行う。

④ 審議会委員意見

市民の方々との意見交換を内容のあるものとするため、団体ごとにランク付けをしてはどうか。

【議長】

ご意見として承る。

⑤ 審議会委員意見

審議会委員の役割は、話すことだけではなく、聴く耳を持つことも大事と考える。この審議会開催の場だけで終わらないように、各々が地域や団体に戻った際に、審議会での話を生かしていくことが重要と思う。

【議長】

ご意見として承る。

⑥ 審議会委員意見

まちの運営について若い人に携わってもらうために、運営の活動主体を若い人とするを基本構想に入れ、若い人の意見を尊重するようにしてはどうか。また、ワークショップのメンバーに年代別に必ず一人推挙するなどしてほしい。

【議長】

若い人の意見を取り入れるためのワークショップの構成や仕組みは今後検討する。

⑦ 審議会委員意見

アンケートはあるようだが、アンケート以外でもよいので、小学校高学年から意見を取り入れる仕組みもあればよいと思う。

【議長】

基本方針（案）については了承してよろしいか、また、今後の進め方について提案のとおりとしてよろしいか。

【出席委員】

異議なし。了承した。

(2) 次期総合計画策定に係る市民等アンケート項目について

初めに事務局から資料の説明を行い、質疑・意見交換を行った。

① 審議会委員意見

市民アンケート 6 ページ、地域での活動やボランティア活動についての設問があるが、市

民が参加する活動であれば、その地域に限る必要はないのではないかと。

同じく2ページ、一関市の満足度についての設問はあるが、一関市のイメージについての設問がないので、一関市らしさとは何かという設問があれば基本構想をつくるのにも役に立つのではないかと思う。

② 審議会委員意見

市民アンケートの回収率は前回4割弱だった。市民の方のアンケートの回答が計画に反映されるということを全面に出して、回収率を上げることが必要ではないか。表紙の文言を回答したくなるようなものにすることが必要ではないか。

③ 審議会委員意見

市民アンケート3ページ、一関市の生活環境の満足度の項目であるが、防災・消防救急と防犯・交通安全が同じ項目になっているが、防災・消防救急と防犯・交通安全は項目を分割した方がよいと思う。

同じく5ページ、災害に強いまちづくりに向けて最も重要だと思われる取組みの項目に、地域コミュニティ強化事業の項目を追加した方がよいと思う。

④ 審議会委員意見

中東北の拠点都市を目指すのであれば、企業アンケートの対象地域に、奥州市、大船渡市の企業を追加してはどうか。企業が奥州市に営業所を立地している理由がアンケートで見えてくるかもしれない。対策を打てるのではないかと思う。

【市回答】

この企業アンケートのエリアは主に経済圏（通勤）エリアとしたものである。

⑤ 審議会委員意見

提出意欲を持たせるように表紙の内容を工夫したほうがよい。（あなたの意見でまちを良くしませんか、など）

⑥ 審議会委員意見

前回、中高生のアンケート依頼はどのように行ったのか。

【市回答】

前回、中高生アンケートは生徒数の割合に応じて市内全ての学校にお願いしている。

⑦ 審議会委員意見

市民アンケートの回収率が低いので、簡単な内容にするとか、キャッチコピーやイメージ絵を入れるなど工夫をしたらどうか。

提出しない人の追跡調査は行わないのか。対面方式を実施すると回収率が上がるのではないかな。

⑧ 審議会委員意見

アンケートをインターネットで行うことも検討してはどうか。

⑨ 審議会委員意見

産業まつりなど不特定多数が集まる場所でアンケートを実施してはどうか。

【議長】

イベント時にこのようなアンケートを行うのは無理である。しかし、対面方式を取り入れることについて事務局で検討させる。

⑩ 審議会委員意見

無作為抽出の方法はどのように行うのか。年代別の回答率はできるのか。

【市回答】

電算化されている住民基本台帳から機械的に抽出する。年代別の回答率もできる。

⑪ 審議会委員意見

回答能力がない人にもアンケートがいつている可能性があるかもしれない。

【市回答】

アンケートの方法については、もう少し詳しい資料を事務局に準備させる。

(3) その他

・ 総合計画審議会の意見等への回答

事務局から、前回の審議会の後に意見書により提出された意見等について、資料に基づき報告した。

【議長】

このように、意見書を提出していただくと、お答えする形をとっている。ぜひご利用願いたい。

・ 基本構想の検討

【議長】

いよいよ基本構想の検討が始まる。そこで、次の基本構想に入れたい文言、考え方のアンケートをとりたいたいと思う。それを一枚の表にすると方向性がわかると思うので、短く簡単に1～3つ位挙げてほしい。将来像、まちづくりの目標、なんでもよい。自分でこの部分にこの文言がほしいという形で記入してほしい。後日事務局からアンケートを送付させる。

- ・ 審議会委員の再任

【市職員】

前回、審議会委員の再任に関する話がでた。市としては、現審議会委員の皆様の意向を確認させていただいた上で、全員再任ということを考えている。次回の審議会案内時に意向の確認の書類を送付させていただくので検討をお願いしたい。

午後3時20分 閉会

8 会議の公開、非公開の別 公開

9 傍聴者の数 2人（報道機関）